

第2回単P会長会議



第1回単P会長会議



市内40校のPTA会長と母親委員 全員集合!!

母親委員会



第3回単P会長会議



～目次～

○表紙(写真)	【1】
○会長あいさつ	【2】
○各委員会からの報告	【3～6】
○「活動を振り返って」	【7】
○「更なる連携を求めて」	【8】
○日P全国大会報告	【8】



平成22年度日立市立小・中学校PTA連合会のメンバーの皆さん、1年間お疲れさまでした

平成22年度は「『学びI、語りI、共に響き合おう』
～ ひかりかがやき たくましく ちからあふれる ひたちっ子を育てために ～
をスローガンに掲げ、茂野会長を中心に活動を展開いたしました。

日立市立小・中学校PTA連合会
会長 茂野勝雄



熱く語る茂野会長

日頃より、日立市立小・中学校PTA連合会の活動に對しましては、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、当会は未来を担う子どもたちが明るく健やかに成長することを願い、その実現のために積極的な取り組みをしている各単位PTA（学校単位のPTA組織）のバックアップ応援回という意識・位置付けを念頭におきながら活動をしております。平成二十二年度は各種事業や委員会活動を通して、単位PTAの活動がより活性化され、ひいてはそれが子どもたちの健全な成長に繋がるようにとの思いから、市内の小・中学校四十校の単位PTAの会長さんと母親委員の皆さん、そして知恵袋集

回である幹事局員（各校PTA役員経験者）とともに『学びI、語りI、共に響き合おう』くひかりかがやきたくましく、ちからあふれるひたちっ子を育むためにくをスローガンとして活動してまいりました。

当会には四つの委員会があります。それぞれが委員会の活動では各委員長を中心として、情報交換と共有という『学びIと語りI』、そして会務の推進という『響き合い』をバランスよく進めていただきました。

PTA活動では情報交換と共有はとても大切です。ご存じの通りPTAは『不連続が連続する組織』で、毎年同じメンバーで活動することはありません。特に会長さんや母親委員さんが単年度でバトンタッチすることが多くなってきた近年では正の断面もある一方、活動のためのスキルや情報などが定着しない、伝わりづらいといった課題も顕在化しています。

更に、社会構造の変化が早く価値観も多様化する現代においては、PTA活動の幅や活動に求められるものも変化してきています。近年、ITの進歩によっての様々な知識や情報がいつでもすぐ手の届くところにあります。

しかし、実はそういったものからの知識や情報よりも、市内で自らの組織と同じような環境で活動してい

るお隣の会長さんや母親委員さんからの情報の方がはるかに“生きた情報・活きる情報”だったりします。ラグビーの言葉に『ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン』という言葉がありますが、今後も市内の各単位PTAがそれぞれの活動や当会とのつながりの中でがっつりとスクラムを組み、互いに支え合い、ひかりかがやきたくましく、ちからあふれるひたちっ子を育むために邁進されることを願ってやみません。

平成二十二年度活動報告

- 五月八日（土）日立市PTA連定期総会
- 五月二十二日（土）東北PTA連定期総会
- 五月二十九日（土）茨P連・茨P安定期総会
- 六月十九日（土）第一回単P会長会議
- 七月十日（土）茨P連女性ネットワーク委員会研修会
- 八月二十七日（金）～二十八日（土）日本PTA全国大会ちば大会
- 九月二十九日（水）日本PTA関東ブロックちば大会
- 九月二十九日（水）東北地区女性ネットワーク委員会研修会



今年度の役員・幹事・常任委員



- 十月十六日（土）第二回単P会長会議
- 十月二十三日（土）東北地区指導者研修会
- 十一月二十三日（火）日立市教育講演会
- 十一月二十八日（日）茨城県PTA振興大会
- 二月五日（土）日立市教育振興大会
- 二月十九日（土）第三回単P会長会議



各委員会からの報告

- ・未来委員会
- ・主連活動委員会
- ・情報委員会
- ・母親委員会

未来委員会委員長
「出会い」と「学び」
茅根弘匡



未来委員会は、「出会い」と「学び」をテーマに活動してまいりました。主管事業として、十一月二十

三日に開催されました「日立市教育講演会」の運営でした。今年の講師には、「極道の妻(つま)たち」の



家田荘子先生へお礼を言う茅根委員長

著者である作家であり、高野山真言宗僧侶でもある家田荘子さんをお招きして『ティーンからのメッセージ』く知ってもらいたい。子どもたちのこと』という演題でご講演いただきました。



家田荘子先生(写真中央)を囲んで

大会のI部において、講演会PRビデオ製作のために、七月に未来委員会幹事局員(勝山氏)と共に東京にて、家田さんとの取材からスタートしました。当日は、八一〇名の参加があり薬物を使用したり、いじめを受けた経験のある子どもたちやその保護者への取材内容をもとに講演さ

れました。挨拶から始める子どもたちのコミュニケーションや子どもへの気持ちを受け止めることの大切さ、親の愛情の伝え方など、親子、家庭、学校、地域のあり方について考えるよい機会となりました。

家田さんは、一貫して現場・現実主義を貫き、必ず現場に足を運び、当事者に会って真実を掴むという取材スタイルで『大人の知らない子ども』の部分「見たくない」「知りたくない」ではなく、知って、話して、一緒に考えて下さい。』と全国に講演を通してメッセージを送り続けています。

この日立市教育講演会は、教育振興大会の第II部に位置づけられ、教育委員会、教育研究会、日立市立小・中学校PTA連合会、そして本年度は東北教育事務所の四団体が主催となって開催されました。

未来委員会のメンバーは勿論のこと、市P連の活動を通して市内四十校のPTA会長、母親委員との『出会い』があって、本年度の市P連のスローガン「学びI、語りI、共に響き合おう」の下、子どもたちの明るい未来のために多くの『気づき』が得られ、『共有』出来たことと思います。

最後に、日立市教育講演会開催に当たりまして、教育委員会、教育研究会、東北教育事務所の皆様を始め

市P連役員、幹事局、事務局の多くの方々、そして未来委員会メンバーのご協力により、講演会が無事に終えることができましたことに心から感謝申し上げます。一年間、大変お世話になりました。



「出会い」と「学び」をテーマに議論中

生涯学習委員会委員長

『みなおそう！わが家の約束』

芳賀隆雄



今年度は、

『みなおそう！

わが家の約束』

をテーマとし

て、十名の委

員、三名の常

任委員、二名

の幹事局員、そして、私を含めて計十六名で活動してまいりました。

活動内容は、本年度のテーマをもとにした（家庭のルールづくり）、（単P会長会議の充実）、（PTA活動に役立つ「単Pお役立ちツール」のまとめ）の三項目としました。

まず、第二回単位PTA会長会議では、参加対象を各校会長と女性役員とし、「家庭のルールづくり」をテーマとしたグループディスカッションを企画しました。参加者（父親として、母親としての立場）を六グループに分け、六項目（①「食事のルール」②「テレビとゲームについてのルール」③「時間についてのルール」（生活サイクル）④「お手伝いと礼儀のルール」⑤「人との接し方についてのルール」⑥「お金についてのルール」）の異なるテーマについてディスカッションをしていただきました。

この結果を、各校PTA活動の基礎資料としたり、各家庭における「しつけ」や、「子どもとの会話」の切り口に利用していただきたいと思っております。

それから、第三回単位PTA会長会議では、どうしても先生方に参加していただきたいという思いから、先生方にも参加を呼びかけました。参加対象を各校会長と女性役員、そして各校の先生方で、『学校・家庭の連携による教育のあり方』をテーマとした、会議を企画しました。

講師に、茨城県水戸生涯学習センター所長 池田 馨氏をお招きして、まず、講演を頂き、その後、同じテーマにて、各校会長、女性役員、そして、先生を交えて十グループに分かれディスカッションを行いました。その結果は、当日発表していただ



生涯学習委員会の活動の様子



活発な意見交換をするPTA会長と母親委員

けるとよかったですのですが、時間の都合上、日立市P連ホームページに掲載いたします。

学校と家庭が連携していくことによつて、子ども達が、のびのびと、明るく、楽しく、勉強に、運動に励める環境にしていければと思います。今年度の委員会活動は、拙い委員長でありましたが、各委員の熱い思いとご協力により、後押しされながら、熱い活動ができたと思います。各委員の方々に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

個人的に、日本PTA全国大会にも参加させていただき、「自分磨き」も出来ましたし、今までにない超多

忙な一年間でしたが、とても充実していました。

最後には、新年度の生涯学習委員会の皆様には、「子どもたちの明るい未来のために・・・」を合言葉に、また市P連各位の研鑽の為に、グループディスカッションは是非継続していただければと思います。

また、先生方にも気軽に参加してもらえような連合会の雰囲気づくりも心がけていただければと思います。

一年間、当委員会活動にご支援、ご協力をいただきました。本当にありがとうございます。



情報委員会委員長

『新しいコミュニケーション言葉のビタミン』

関壽男



平成二十二年度の情報委員会を運営するにあたりご支援とご協力をいただきました

した「NPO法人コミュニケーションティNE Tひたち」「株式会社JWAY」のご担当者様及び市P連役員の皆様並びに情報委員の皆様へ御礼と感謝を申し上げます。

本年度情報委員会は、「新しいコミュニケーション」言葉の「ビタミン」をテーマとして市P連の広報誌「みらい」の編集・発行、ホームページの管理及びリニューアルを中心として活動してまいりました。

活動にあたり茂野会長より、「単位PTA活性化のための情報や資料の提供」「会員の資質の向上につながる情報や資料の提供」などを指示いただきました。また、楽しくタイムリーであることなどの課題をいただきました。

ホームページに関しては、トップページのリニューアルとデータのアップに関して「NPO法人コミュニケーションティNE Tひたち」のご担当者を交えて

詳細な打ち合わせが行われました。広報誌「みらい」は、三月一日の発行に向けて紙面の構成などが早期に決定しました。

当年度の情報委員会の構成メンバーには、パソコン等の知識が豊かな方や広報誌を専門的に作成していた方などがいて積極的な提案を出していただきました。

情報委員会の作業には特殊な技術や知識を必要とする部分があり、専門的な能力を持っておられる方がメンバーとなっていたことは大変心強いことでありました。

情報委員会は六回開催されましたが、ホームページの更新に関するPTOのご担当者との打ち合わせ等は二回行われ、有志による検討のため



どんな広報誌「みらい」にしましょうか？

の話し合いも数回行われました。

「みらい」の編集作業に関しても、データの収集が発行間際とならざるを得ないことがあり、委員数名で臨時的な作業を数回実施いたしました。

「ホームページ」「みらい」という情報委員会の委員の皆さんの熱い協力により出来たものが、どれだけご満足いただける産物となったかはそれぞれの評価があります。

しかし、情報委員会として六回の会合において交換できたものは単なる情報のみではなく、交わした言葉のビタミンは、今後引き継がれる新しいコミュニケーションとなったと自負いたしております。非力ながら情報委員長を拝命しましたが、一年間の情報委員会を支えていただいた皆様に、重ねて「ありがとうございます」と申し上げます。

情報委員会への想い 助川中学校PTA会長 徳崎浩人



情報委員会は、ホームページ更新と広報誌「みらい」の発行という「市P連の顔」となる

委員会。私自身がどれだけ活動に寄与できたかどうか疑問もありますが、一年間の情報委員会の活動は、私にとって大変有意義な活動でした。私は小学校を含め三度目の単P会

長でしたが、本年度ほど毎回委員会の会合で、その時に持つ各単P会長さんの意見や苦勞、想いを活発に話し合えたことはありませんでした。まさに委員長が本年度のテーマとして掲げた「新しいコミュニケーション」に合致した活動だったのではと感じています。

この活動で感じたこと、得たものを自分の単Pに持ち帰り、子どもたちのために何ができるか、何をしよう、実行できるかを考え、実行していきたいと思っております。一年間ありがとうございました。



日立市P連ホームページはお役立ち情報が満載！ぜひご覧ください！

“日立市P連”で検索ボタンをクリック！



母親委員会委員長

「食の記憶は幸せの味」

道口みゆき



今年度は「食育」が大人になる子どもたちのために一年テーマに一年

間活動してきました。第二回委員会では、南高野給食調理場の見学と給食試食会を開催しました。調理場では、子どもたちが毎日お世話になっている給食が、実際どのように作られているかを見せていただく貴重な機会となりました。

委員の感想を一部ご紹介します。「場長や栄養師さんのお話を聞き、限られた予算の中で、工夫され考えられた献立になっていることに感謝の気持ちで自然に沸いてきた」「子どもたちを調理場の方々と一緒に育てて下さっていると感ぜたい」「家に帰ったら子どもに伝えたい」「厳しい衛生管理を知り驚いた」「残食があることが残念」などの声が多数ありました。トイレ使用時には、食品を扱う際に着用している衣服は別室で脱いでから使用するもの、雑菌があるかも知れない場所に調理に関係するものは一切持ち込まないこ

の徹底した衛生管理があるからこそ、子どもたちが毎日安全な給食をいただけることを知り頭が下がっていると思います。

だからこそ、沢山の残食を出していることを残念に思い、同時に私たち親の責任は大きいことを痛感しました。その後、久慈中学校で給食の試食をしましたが、見学の後の給食は格別の味がしました。残食はゼロで空っぽの容器を返却できました。

夏休みなどには見学会も行っているそうですので、一度親子で見学してみることをお勧めします。調理場にある大きなお鍋は圧巻です。

また、第三回委員会は野菜ソムリエの皆様を講師にお迎えしての、食育講演会を開催しました。実際に目の前で作っていただき、試飲・



「食の記憶は幸せの味」試食中

試食もありの实りの多い講演会となりました。メニューは「大根とミカンのジュース」「レンコンを使ったホットジュース」「リンゴを使ったカレー春巻き」「里芋のテリーヌ」の四品でしたが、どれも美味しくいただきました。全てのメニューが目からウロコで、頭を柔らかくすれば、日頃組み合わせをしない食材も、美味しく食べられることを勉強させていただきました。「旬」の食べ物には「価格も安く、味も美味しく、その季節に必要な栄養価も一番高い」と三拍子そろった状態だそうです。家計にも優しく、子どもに季節感を教えられる「旬」の食べ物を意識したいと思います。食育とは難しいものではなく、愛情と工夫で楽しんでできることなのだと思えていただきました。

いずれ子どもたちは巣立ってゆきます。その時、健やかな体と心を持った大人になることを、親なら誰でも願っています。母親手作りの「お袋の味」が、手抜きを意味する「袋の味」などと揶揄されている昨今ですが、温かい心のこもった食事は、体も心も育てる栄養になります。

子どもの頃の懐かしい味の記憶を持っているのは私だけではないでしょうか。遠足や運動会のお弁

当、給食の味は子どもの頃の友達との楽しい思い出と共に大切な記憶になっていきます。同年代で給食の話がでると、思い出話に花が咲き話題は尽きません。子どもの頃の味の記憶は失われたいものなのではないでしょうか。

すべての子ども達が、幸せな味の記憶を持つ大人になることを心から願ってやみません。次年度も子どもたちのために、母親委員会は活動していきます。

最後に、一年間の活動にご協力をいただきました皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



「ベジフルコミュニティいばらぎの野菜ソムリエ」のみなさん



未来委員会



宮田小学校PTA会長 薄井啓司

私は、未来委員会メンバーと共に「出会い」と「学び」をテーマにして日立市教育講演会に向けて活動してきました。

平成22年度の日本PTA全国大会ちば大会にも参加させていただきました。

日本PTA全国大会出席は、一緒に参加されました日立市小・中学校PTA連合会の方々には日本PTA全国大会とその行き帰りは勿論、同行させて頂いている間一貫して何気ない会話の中からも自分の単位PTAで参考になることや啓蒙させられるお話を頂きました、そこに多くの「出会い」と「学び」があったと思っています。

是非自分の単Pに持ち帰り、どんなに楽しく有意義で有ったかを話したいと思っています。

生涯学習委員会



坂本小学校PTA会長 武士久

生涯学習委員として、単P会長会議の取りまとめを行ってきました。場所の確保や講演会講師の選定、各校への参加要請、それらを話し合うための夜間会合と、思っていた以上にやるが多く、正直なところ面倒に感じた時もありました。しかし、得たものはそれ以上に大きなものがありました。事前打ち合わせの会合や、会議当日のディスカッションにおいて、多くの意見・考え方が聞けたことです。話し合いの中で、新たな切り口に気付かせてもらったことも、少なくありませんでした。1年間の活動で以上のような気付きの機会を持てたこと、また多くの方々に出会えたことに対し、関係各位に深く感謝しております。ありがとうございました。



活動を振り返って



母親委員会



榊形小学校母親委員 永山幸子

バイタリティあふれる委員長の下、充実した母親委員会の活動を送ることができました。他校の委員さんとの交流は、私の視野を広ろげ、連帯感を持つことができ、より積極的にPTA活動に取り組みました。一市民の私が、子どもの健全な成長のためにできることはなんだろう？。まずは、母親として家庭をを大切にしたい。そして、毎日出会う地域の子どものためには…？子どもって、とっても愛おしい存在です。子どもは社会（国、世界、宇宙）の宝物！！そんな価値観の定着や、子ども中心の文化の底上げを、市P連は担っていると思います。他機関との連携やお互いの信頼関係を深めて、子どもが安心できる居場所をつくりたいですね。皆様との出会いを大切に、これからも活動していきたいと思っています。

情報委員会



大久保小学校PTA会長 赤津幸作

情報委員会のメンバーとして活動をさせていただきました。意見交換では、学校単位での悩みや・今後のPTA活動の在り方など、それぞれのお立場で感じる事や、各校での特色を知る事の出来た有意義な時間を共有する事が出来ました。来年度以降も市P連としましては原点でもある「出会い」と「学び」の場として、各校の方々が率先して参加され単P活動に於いて、元気の源となるような交流を目指し、今後も活動が出来れば良いのかなと思いました。最後に、本年度大久保小学校父母と先生の会としまして、ベルマーク活動事例発表を本校の厚生委員会が行いました。また、日立市教育振興大会に於いては、オッズスピリッツ（おやじの会）の活動報告を発表するチャンスをいただきました。大変ありがとうございました。

日立市学校長会 会長
更なる連携を求めて

木村光利

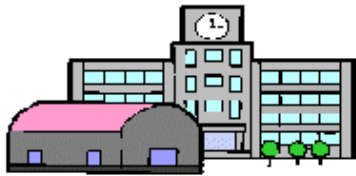


TV・新聞等の報道を見ますと、児童虐待や子どもが被害に遭うといった悲惨

な事件等の暗いニュースばかりが目立ち、子どもたちを取り巻く環境は決して好ましい状況にあるとは言いがたいのが現状です。

このような中であって、各小・中学校PTAの皆様には、日頃より子どもたちの安全安心、そして楽しい学校生活のために様々な活動に取り組んでいただいております。皆様のご支援とご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。

いよいよ新しい指導要領のもとでの「生きる力の育成」を目指した教育が始まります。知識基盤社会、高度情報化、グローバル化といった急激な社会変化の中で、未来の担い手である子どもたちの夢や目標を持った生き生きとした活動を支援するために、学校とPTAはさらに連携を強化する必要があると思



ます。それには学校がすべきこと、家庭がすべきことをしっかりと見極めて、お互いが協力し合い一体となって活動する体制づくりをすることが重要であると考えます。「親の背を見て子は育つ」と良く言われます。子どもの健全な成長のために頑張りたいものです。



日本PTA全国研究大会報告
台原中学校PTA会長 鈴木祐一

第五十八回日本PTA全国研究大会・第四十二回日本PTA関東ブロック研究大会が平成二十二年八月二七日・二八日に開催されました。「花・海・房の国 集い語れば実りあり」と言う大会スローガンの下、全国から約八千人のPTA関係者が集まり盛大で実りある大会でした。

全体会記念講演の講師は松岡修造氏で「叱って、ほめて、だきしめる」、「のテーマで「子どもたちの応援者」としての生きがいを感じ、子どもたちは何に興味があり何をすれば伸びて行くかを考え、それを子どもたちに気付かせる役目が自分にはあると話されました。子どもたちの三日坊主は大歓迎

であり、いろんな事に興味を持つ事こそ大事であり、その興味を引き出す「心の鬼コーチ」になることが松岡氏の役目です。

子どもは感受性が強く、良くも悪くも一生覚えており、一番プレッシャーと感じるのは親からの圧力であるので、親は軽はずみな言動を慎むべきですが、反対に親からの良いメッセージは子どもたちの心に一生響き続け、親からの良い言葉こそ子どもたちの多くの興味とやる気を喚起できるということです。

嫌いな言葉は「出来ない」「無理」「うざい」「むかつく」「微妙」「疲れた」等。好きな言葉は「目標に向かって頑張っているね」「一生懸命」「ありがとう」等。

松岡氏の持論として印象深かった言葉は「良い個性とは、基本（反復力）が出来て始めて成り立つ」「WHYではなくHOWに変化させて考えよう」「楽はNG。



幕張メッセイベントホール会場



市川市文化会館前(筆者右端)

楽しい、真剣はOKでした。約二時間の講演でしたが、始まって十分くらいでスーツを脱ぎ棄てワイシャツも汗でびしょびしょになり、ステージ狭まると端から端まで動き回っての講演でした。

子ども、親、先生、地域との相互間の連携とコミュニケーションを密にして、当たり前の事を当たり前に出来る事、又、継続する事の大切さ、難しさ等を単Pで少しでも多くの人達に伝えたいと思えました。

来年度(開催地・広島)は多くの人たち(特に単P会長)に参加していただきたいと思います。(道中、多くの情報交換が出来ますよ)

ちば大会の松岡修造氏、角田信朗氏(空手家)、森田健作知事等と多くの熱い人達の話聞く事が出来、暑い暑い充実した二日間でした。

